

不一致ファイル

• 不一致ファイル (1ページ)

不一致ファイル

このアラームは、デバイスで実行されているソフトウェアのバージョンの既知の適正な値 (KGV) に対するハッシュを検証することで、デバイスで実行されているソフトウェア アーティファクトとファイルの完全性をモニターします。アラームをトリガーする不一致の数を設定できます。不一致ファイルに対処するには、デバイスを調査し、実行されている Cisco IOS XRのバージョン、ファイルを最後に展開したユーザー、ファイルの提供元などを確認します。このアラームを設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ2 [ポリシーを追加(Add Policy)]をクリックします。
- **ステップ3** [名前 (Name)]フィールドでポリシー名を入力します。
- ステップ4 [トリガー (Triggers)]で、[ルールの追加 (Add Rules)]をクリックします。
- ステップ5 [不一致ファイル (Mismatched Files)]をクリックします。
- ステップ6 [次へ (Next)]をクリックします。
- ステップ7 デフォルトでは、ルールが有効になっています。ルールをまだ使用しない場合は、スイッチを[無効 (DISABLED)]に切り替えます。
- ステップ8 スライダを使用して、このアラームをトリガーする不一致ファイルの数を示します。不一致ファイルの数が赤色と ALARM テキストで示される範囲内にある場合、Crosswork Cloud から通知が届きます。
- ステップ9 [重大度(Severity)]ドロップダウンリストで、このアラームに定義する重大度を選択します。
- **ステップ10** その他の必要なインターフェイスおよびエンドポイント通知の設定を行い、[保存(Save)]をクリックします。

不一致ファイル

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。